

校長 橋本 忠

学年行事ではたくさんの思い出作りができ、無事終了できました。

本年度がスタートして2か月、新緑から初夏へと、学校は、充実・活躍の季節となりました。5月14日から3年生は修学旅行、2年生は宿泊訓練、1年生は地域探訪・避難所生活体験を実施しました。どの学年の行事も立派にやりとげることができました。新しい学年で、仲間と協力して実施し、思い出がたくさんできたことと思います。1年生の避難所生活体験学習については、市役所、消防署、東山口地区区長会、伊達方自主防災会などの方々の御協力を得ながら実施し、大変有意義な体験を行うことができました。当日は、NHKの取材も入り、夕方の地域ニュースで放映されました。御家庭での御指導・御支援に改めて感謝申し上げます。

**すばらしい天候の中、感動いっぱいの体育祭となりました。**

待ちに待った体育祭を5月25日（土）に好天の中、予定通り行うことができました。保護者・地域のみなさんの声援をたくさん頂きましてありがとうございました。

スローガン「たくさんの努力と思いを 今ここに」の通り、どの種目においても最後まであきらめることなく精一杯行うことができました。102人の生徒・職員・保護者の方々、地域の方々全員の協力の下、とても温かい体育祭で感動の場面がたくさんありました。

ここ何年か赤組の優勝が続いていましたが、今年度は僅差で青組の優勝となりました。最後の最後まで優勝の行方のわからない大変白熱した体育祭となりました。一人一人の呼名のあと行われた100M走、各学年の趣向を凝らした学年種目、集団で力を合わせた綱引き、他の学年の声援を力に最後のアンカーまで競り合った全員リレー、大きなかけ声を掛け合って団結した長縄、すばらしい戦いだったブロック対抗リレー……、どの種目をとっても子どもたちの頑張りがたくさん見られました。競技や応援だけではなく、競技の運営、さらには準備から片付けまで本当に生徒全員で協力して行っている姿に「さすが栄中生」と感心しました。

開閉会式で行われた「エール交換」では、赤組団長の鈴木夏さん、青組団長の山城黎寿さんの大きな元気のいいかけ声の下、お互いの健闘を讃える清々しいエールの交換ができました。また、最後の実行委員の海堀友雅さんの「……青組の僕は優勝して、もちろんうれしいのですが、負けた赤組もとてもよく頑張っていて思い出に残る体育祭になったと思います。……」という言葉の通り、青組も赤組も持っている力を十分に出し切ったとても温かみのある体育祭になりました。

生徒のみなさん、たくさんの感動をありがとうございました。5月27日からの第2ステージにおいてこの素晴らしい活躍を生かして行ってほしいと思います。

**リサイクルへの御協力ありがとうございました。**

5月12日（日）に行われたリサイクルは、予定日から延期された中での実施でしたが、大変多くの廃品を回収することができ、¥189,914の収益を上げることができました。当日は、部活動の大会等と重なった生徒が多く、人手が少ない中での作業でしたが参加して下さったみなさんの御協力でスムーズに行うことができました。収益金につきましては、教育活動のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

